



#重量物 #鉄鋼 #石油化学 #電気・電子 #グローバル展開

個人投資家様向け 会社概要

2026年9月12日

SANKYU

COPYRIGHT©2026 SANKYU INC. ALL RIGHTS RESERVED.

山九は、投資家の皆さまの期待に応えてまいります！

SANKYU

0 1

オンリーワンの強みを持つ企業の株を買いたい

0 2

安定配当に期待でき、長期で保有したい

0 3

持続的に成長する企業へ投資したい

0 1 山九の紹介 山九の2つの事業

0 2 山九の3つの強み

0 3 山九の成長戦略

0 4 山九の還元方針

0 5 なかむら きみひろ 社長CEO 中村公大の想い

0 1 山九の紹介 山九の2つの事業

0 2 山九の3つの強み

0 3 山九の成長戦略

0 4 山九の還元方針

0 5 なかむら きみひろ 社長CEO 中村公大の想い

01 山九の紹介

SANKYU

実はこんなところに山九(SANKYU)が・・・



※みずほPayPayドーム福岡

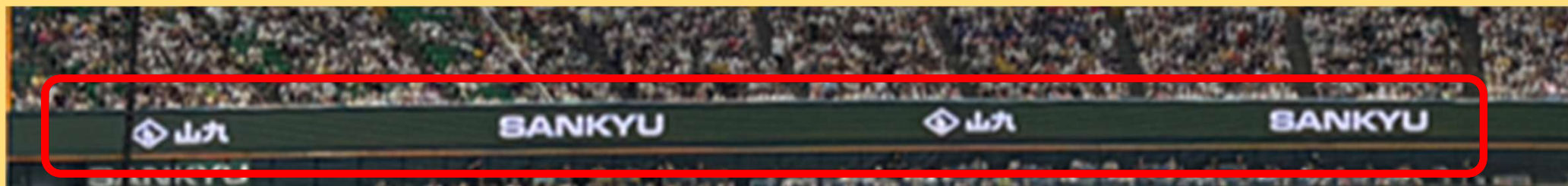
01 山九の紹介

SANKYU

実はこんなところに山九(SANKYU)が...



※みずほPayPayドーム福岡



01 山九の紹介

SANKYU

社名 山九株式会社(SANKYU INC)

創業 1918年10月1日

従業員数 連結 29,324名

拠点数 国内:約87拠点
海外:約39拠点

売上高 連結 6,315億73百万円

※2026年3月末時点



心に「Thank you」を、
世界の産業に山九を。

私たち山九は自分たちを取り巻く様々な人たちに
常に感謝の念を忘れません。
その想いを分かち合うパートナーとともに、
新たな価値を創造し、
世界の産業とその先にある暮らしを支え続けます。

SANKYU



創業100年の現場力で、世界の産業を支える唯一無二の存在

01 山九の2つの事業

SANKYU

物流事業

港湾国際	港湾荷役、輸出入、国際輸送
3PL一般	企業の物流を一括サポート
構内	工場の安定操業を支援



機工事業

メンテナンス	工場設備の点検・整備
設備工事	設備の建設・改修・更新



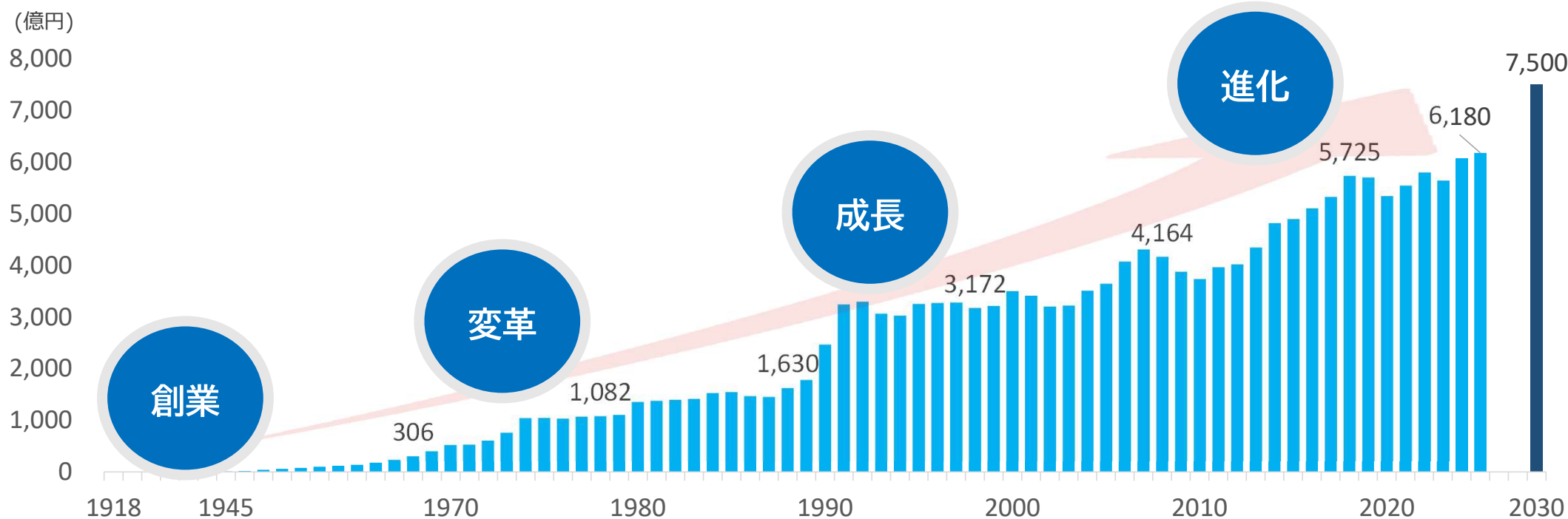
物流と機工※の独自モデルで、産業インフラを足元から支え続ける

*「プラントエンジニアリング」を「機工」と当社では称しております。

01 山九のご紹介

SANKYU

山九グループの売上高推移



1932年
八幡製鉄所での操業基盤を確立

1950年
海外進出(山九シンガポール設立)

1990年
岡崎工業と合併

2000年
メンテナンス事業の拡大
2018年
山九創業100周年

2023年4月～
山九グループ
Vision2030
中期経営計画2026始動

0 1 山九のご紹介 山九の2つの事業

0 2 山九の3つの強み

0 3 山九の成長戦略

0 4 山九の還元方針

0 5 なかむら きみひろ 社長CEO 中村公大の思い

01 強固な国内・海外のネットワーク

02 盤石な事業基盤×確実な成長

03 高技能を誇るプロ集団×圧倒的動員力

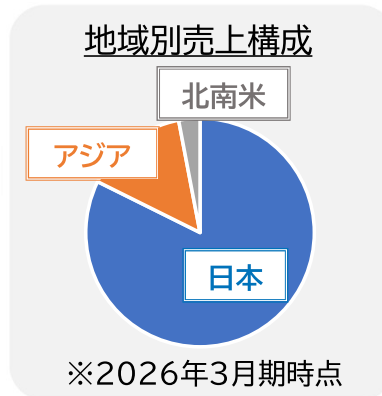
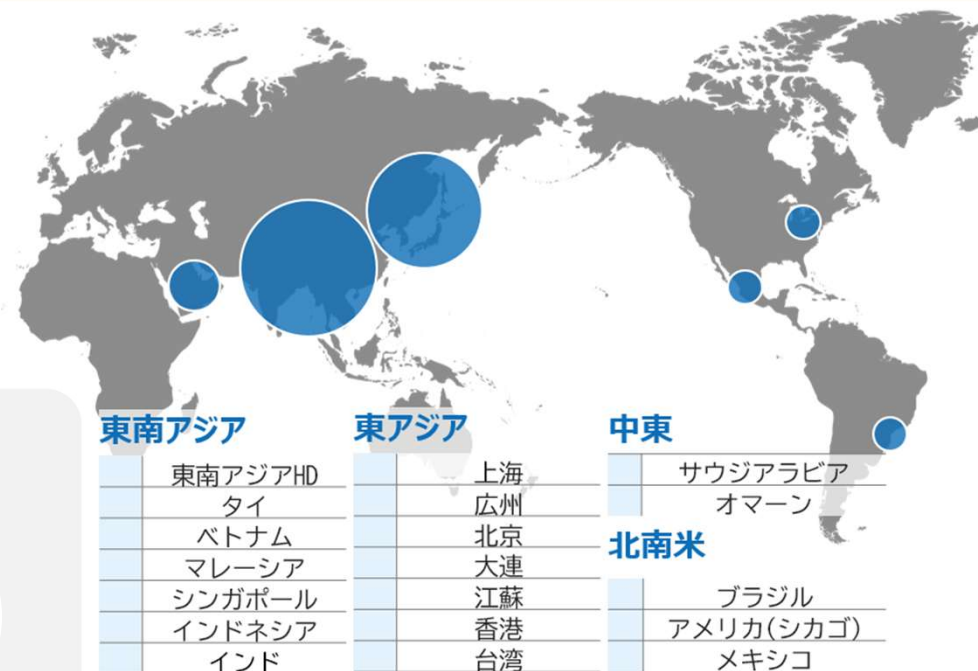
02 強み① 強固な国内・海外のネットワーク

SANKYU

国内拠点



海外拠点 ※主要拠点



国内は主要工業地帯、海外はアジアを軸にグローバルに展開

02 強み① 強固な国内・海外のネットワーク

SANKYU

国内拠点



九州の主要拠点

- 1 八幡支店
- 2 北九州支店
- 3 門司支店
- 4 若松支店
- 5 福岡支店
- 6 大分支店
- 7 大分東支店
- 8 宮崎支店

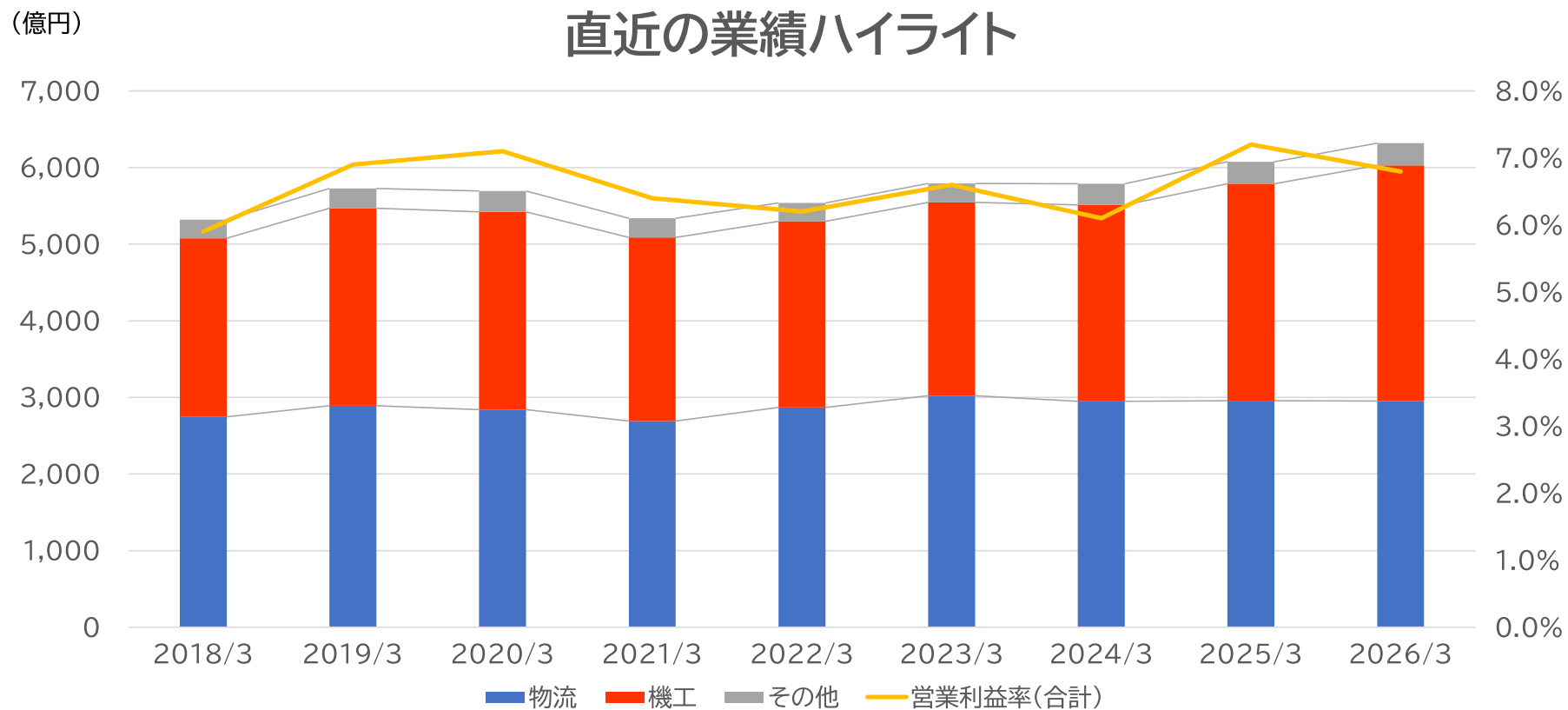


POINT

創業の地 九州は山九の基盤エリア

02 強み② 盤石な事業基盤×確実な成長

SANKYU



物流と機工の2本柱を軸に、盤石な事業基盤のもと安定成長を継続

社会課題

人手不足

インフラの老朽化



山九が選ばれる理由

国内最大級の動員力

100年で培った
技能・技術



「人手不足」と「老朽化」は、山九にとって大きな成長機会

02 強み③ 高技能を誇るプロ集団×圧倒的動員力

SANKYU

高度な教育プログラムと国内外の教育施設

国内 4拠点



海外 2拠点 マレーシア
サウジアラビア



圧倒的な動員力



1万人超の稼働力で大規模受注に対応

機工従業員数(連結) 約9,600名

協力会社人数 約6,100名

※2026年3月時点



「世界レベルの技術力」と「国内最大級の動員力」で現場を支える

0 1 山九のご紹介 山九の2つの事業

0 2 山九の3つの強み

0 3 山九の成長戦略

0 4 山九の還元方針

0 5 なかむら きみひろ 社長CEO 中村公大の思い

優位性のある分野へ集中

- 鉄鋼・化学・電子部品に注力
- 高付加価値物流へシフト



高付加価値物流へ

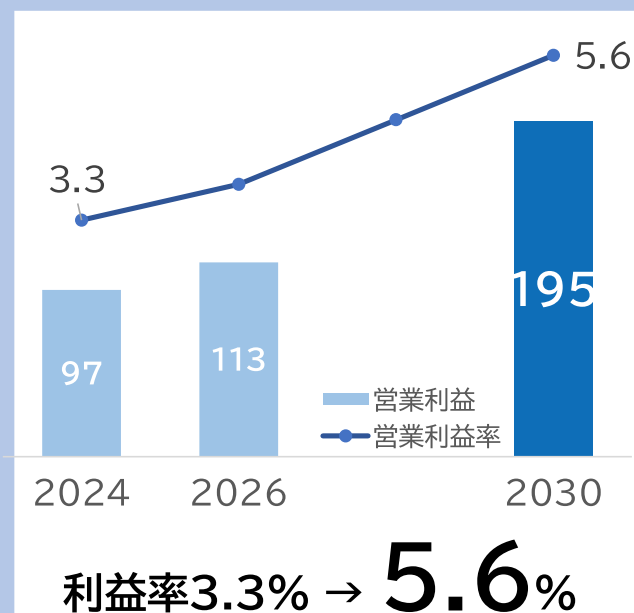
徹底したコスト削減

- 組織をスリム化
- 業務改革で生産性向上



コスト削減→**40**億円

収益性向上



構造改革で「利益を稼ぐ物流事業」へ転換

収益基盤のシェア拡大

- メンテナンスシェア拡大
- 技能者の多能工化



鉄・化学の多能工

300名育成

動員力の拡大

- 国内外の人材を有効活用
- 協力会社ネットワーク拡大



協力会社員数

6,000名→**7,000**名

次の収益の柱を育成

- 環境(ゴミ焼却炉)



- インフラ(道路・水道)



- 風力



- 原子力



最大**1,000**億円のM&A



安定収益を土台に、新たな成長市場へ投資

日本の原油輸入は**95%**が中東から

24時間365日稼働
保全・メンテナンス需要継続

- ✓ サウジアラムコとの取引実績
- ✓ 1,300名体制

構内操業支援

日常メンテナンス



機器整備

点検、修繕



海外人材の
育成および確保



中東の安定した需要を取り込み、持続的な成長につなげる

0 1 山九のご紹介 山九の2つの事業

0 2 山九の3つの強み

0 3 山九の成長戦略

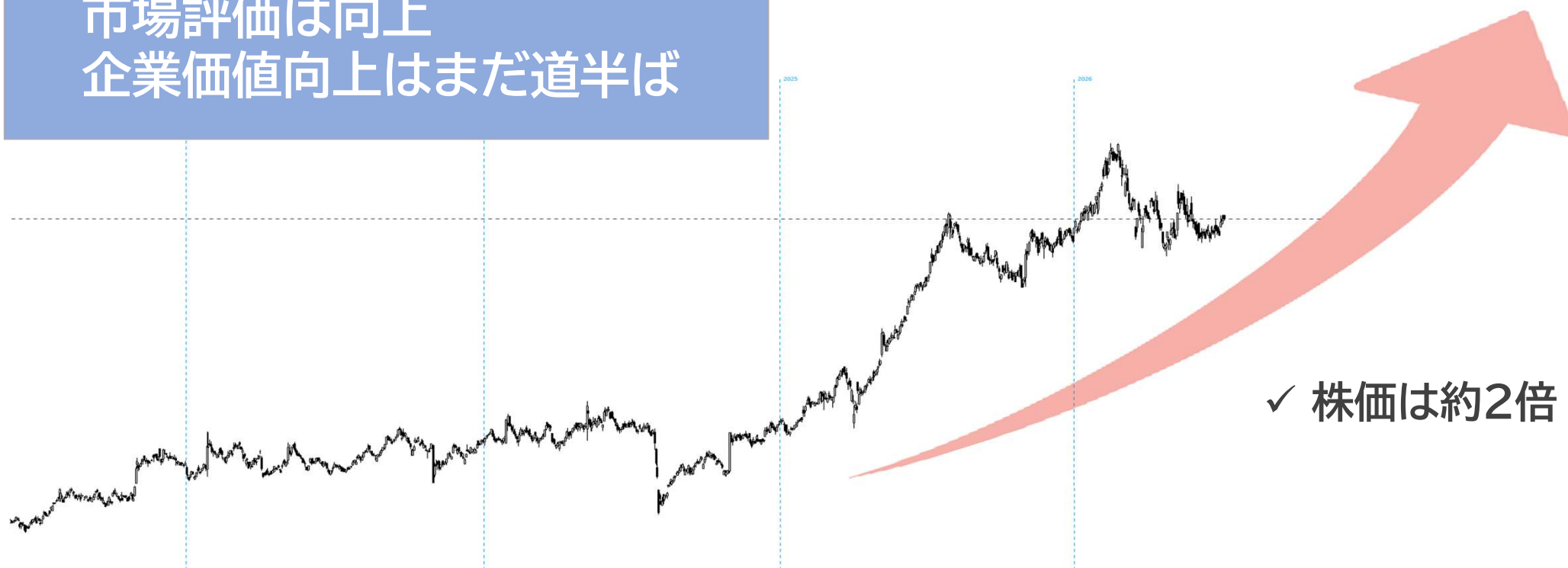
0 4 山九の還元方針

0 5 社長CEO なかむら きみひろ 中村公大の思い

04 市場から評価され始めた山九

SANKYU

市場評価は向上
企業価値向上はまだ道半ば



株価上昇は通過点。さらなる企業価値向上へ。

04 市場から評価され始めた山九

SANKYU

事例10 山九（9065）①

TOPIX
Mid400

陸運業



投資家の評価ポイント

PBRやROEの現状を踏まえ、中計期間中に抜本的に取組みをブラッシュアップ。IR体制の強化や「企業価値向上タスクフォース」の設置など、投資家目線を意識した経営を推進。資本効率や企業価値向上を意識した一連の取組みを通じて、バリュー株からグロース株へと評価が変わった。

- PBR・ROEの水準が停滞・成熟している現状を踏まえ、「再成長企業」となることを目指し、中計期間中であるものの、資本収益性を重視して中計施策を見直し（→ポイントⅢ、④）

中期経営計画補発表の背景とお伝えしたいこと

**想定を上回る事業環境変化を背景に、物流事業を中心に中計施策を見直し
資本収益性を重視した変革を新CEOのリーダーシップのもと実行**

変革の焦点	主要施策
物流事業のコストと全社戦略の意識を強化	企業価値向上タスクフォースを組織 ・改革の障壁となる「事業」「経営」に関する部署間の事業の壁を排除
ROE10%の持続性を考慮した自己資本水準の意識を浸透	経営層（社外取締役含む）で「投資家目線」の議論を活性化 ・将来のあるべき姿を見据えた中長期戦略 ・人的資本経営（人材・DE&Iなど）
事業再編を意識した人材の最適配置と投資リターンを意識を醸成	

出所：山九株式会社 中期経営計画2026見直しおよび2025年3月期決算説明資料（2025年5月12日） 3、7ページ
https://ssi4.eir-parts.net/doc/9065/ir_material_for_fiscal_yml179448/00.pdf

© 2025 Japan Exchange Group, Inc., and/or its affiliates

34

評価ポイント

投資家との積極的な対話姿勢

成長戦略の大幅ブラッシュアップ

資金の使い方の積極的な開示

出所：東京証券取引所「事例集2025 プライム市場編」



投資家目線を意識した経営・開示が、東証の好事例集として掲載

04 市場から評価され始めた山九

SANKYU

投資家が取組みの進展を評価している企業一覧

◆ プライム：時価総額1,000億円以上

コード	会社名	業種	票数	コード	会社名	業種	票数
6481	THK	機械	7	2802	味の素	食品	7
6501	日立製作所	電気機器	7	3407	旭化成	化学	7
6503	三菱電機	電気機器	6	4099	四国化成ホールディングス	化学	6
9065	山九	陸運業	5	4188	三菱ケミカルグループ	化学	5
3941	デンソー	自動車・部品	4	4544	H. U. グループ	化学	4
6861	キーエンス	電気機器	4	5101	横浜ゴム	ゴム	4
8439	東京センチュリー	その他金融業	4	5331	ノリタケ	陶器	4
8801	三井不動産	不動産業	4	5332	TOTO	陶器	4
2875	東洋水産	食料品	3	5334	日本特殊陶業	陶器	3
3099	三越伊勢丹ホールディングス	小売業	3	5482	愛知製鋼	鉄鋼	3
4004	レゾナック・ホールディングス	化学	3	5706	三井金属	鉄鋼	3
4061	デンカ	化学	3	5929	三和ホールディングス	不動産業	3
4205	日本ゼオン	化学	3	6098	リクルートホールディングス	サービス業	3

出所：東京証券取引所「取組みの進展が見られる企業」等に関する機関投資家アンケート結果について

評価ポイント

外部人材の登用

専門組織で改革のスピードアップ

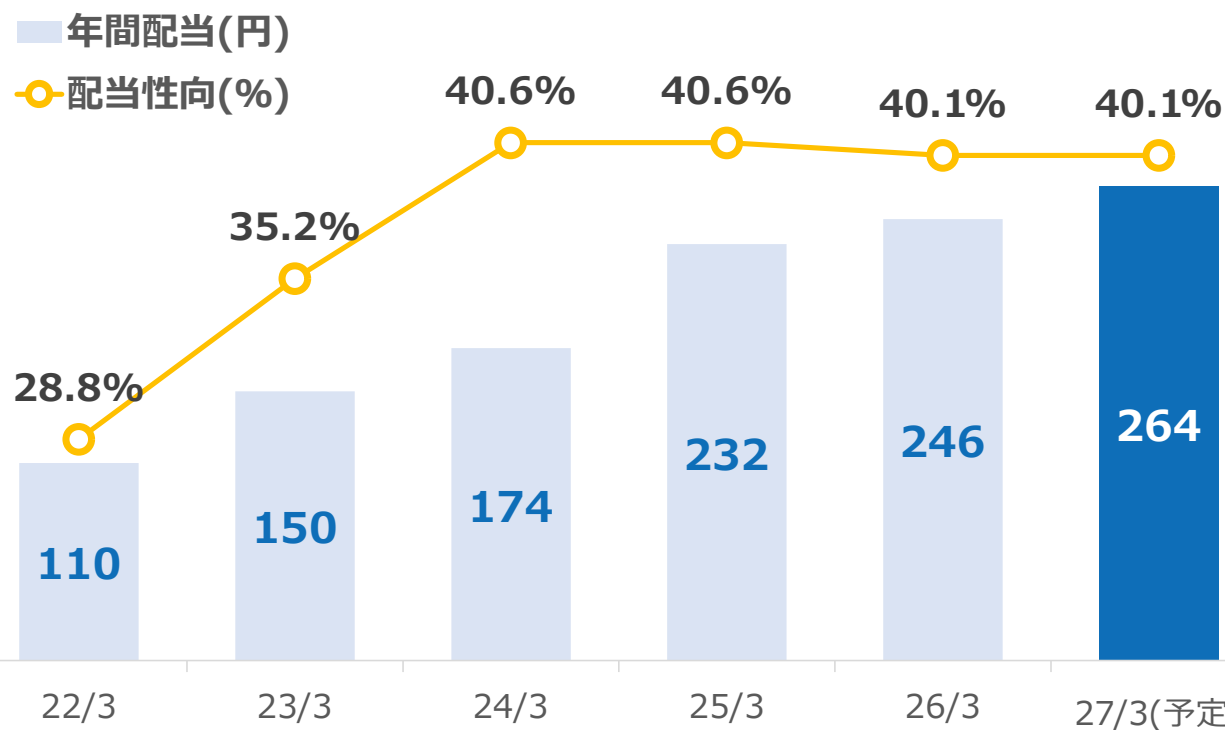
無駄な資産を減らし経営を効率化



投資家を選ぶ「取組みの進展企業」でプライム4位と高評価を獲得

04 山九の株主還元方針

SANKYU



配当方針

1. 減配をしない安定配当
2. 配当性向40%水準
3. 機動的な自社株買い

配当利回り 2.3% 3.4% 3.45% 4.37% 3.02% 3.10%

自己株取得(億円)

150 150 200 200



盤石な事業基盤を背景に、継続的な安定配当を実施

2026年10月1日を効力発生日とし、普通株式1株を**5株**に分割

投資家層拡大

買いやすい株価

流動性向上

対話強化

※100株の投資金額 約80万円→約**16**万円



株式分割でより多くの投資家へ

0 1 山九のご紹介 山九の2つの事業

0 2 山九の3つの強み

0 3 山九の成長戦略

0 4 山九の還元方針

0 5 なかむら きみひろ 社長CEO 中村公大の想い

当社は物流事業と機工事業の二つの事業を国内外で展開しており、世界の産業を支えています。

港湾荷役から始まった当社の事業は、社会やお客様の変化に合わせ、陸上輸送、構内物流・操業、そして機工事業へと柔軟に広げてきました。

当社は社員一人ひとりが目の前の仕事に真摯に向き合い、技能・技術を磨き上げることで、お客様のニーズの変化に迅速に対応しながら発展してきました。

それは、まるで様々な器に合わせて自在に形を変える水のように、しなやかに業容を変えつつ、お客様の事業を支える欠かせない存在を目指してきました。



世界の産業に山九を

今までも、そしてこれからも「人が生み出す価値」の最大化に取り組みながら、あらゆる産業を支え社会の発展に貢献していきます。

代表取締役社長CEO

なかむら きみひろ

中村 公大

ブルーカラーがさらなる価値を生む

中東の巨大市場で飛躍する



ご清聴ありがとうございました

SANKYU

COPYRIGHT©2025 SANKYU INC. ALL RIGHTS RESERVED.

SANKYU

補足資料



港湾物流

事業	- 港のバース(岸壁)におけるコンテナ荷役作業 貨物船への荷役やコンテナの受け渡し ガントリークレーン等特殊重機を用いての作業 - 港湾地区の倉庫 “港頭倉庫”での保管作業 - 梱包作業などの付帯作業
特長	- 国内港のみ。主要4大港(東京・横浜・大阪・神戸)とほか地方港に拠点あり - 中国、韓国等の船社が顧客、近海航路がメイン - コンテナ単位での荷役作業が主の為、貨種は様々 - 輸入：輸出 = 6 : 4
競合	上組、ほか地場の港湾荷役業者



国際物流

事業	フォワーディング事業 主に海運会社から貨物スペースを仕入れ、荷主に提供する
特長	- 海上フォワーディングがほとんど 海上：航空 = 9 : 1 - 顧客、貨種ともに多種多様だが、日本⇄東南アジア・中国が比較的多い
競合	フォワーディング業者

港湾国際 共通

主な業績変動要因	- コンテナ取扱量の増減 - 日本国内の貿易量 ※ 売上割合は港湾：国際 = 4.5 : 5.5 (目安)
----------	---

3PL事業

事業	- 顧客ニーズに合わせた物流部門の包括受託 - 例1)①輸入②国内拠点間輸送③流通加工③配送の一貫受託 - 例2)①充填包装②移庫③SP*保管、配送の一貫受託 - 物流診断 - 専用倉庫管理システム開発 SP* : スtockポイント
特長	- 現状は国内展開のみ。 4割が化成品（構内事業や機工事業とのシナジー） - ほか電気・電子、流通・小売り等
競合	NX, センコー等



一般物流

事業	- トラック輸送 - 倉庫作業
特長	- 国内、海外ともに展開しており、海外顧客は日系企業が中心 - 当社ではほとんど庸車持たず、関係会社のサンキュウ・トランスポート各社やその下請業者が所有 「山九トラック輸送パートナー会社」協力会社のネットワーク ※2024年度56社 3PL一般のうち、中国域内の物流は10～15%程
競合	NX, センコー等 ほか全国の運輸会社

3PL一般 共通

主な業績変動要因	- 客先生産量 - 国内外の物流量 ※ 売上割合は3PL : 一般 = 2 : 5（目安）
----------	---



構内

事業	工場内の原料荷役、半製品運搬、生産ラインの操業支援
顧客	鉄鋼、石油、化学など素材メーカーが中心
競合	鉄鋼：鴻池運輸 化学等：地場の作業会社
トピック	・ 構内事業を手掛ける物流会社は数少ない ・ ほとんどが機工事業と共通の顧客であり、シナジー効果を期待できる ・ 成長エリアである中東では、構内事業とメンテナンス事業を一括した契約が多い(Operation&Maintenance)
主な業績変動要因	・ 顧客生産量 増減 ※ 売上割合は国内：海外 = 8：2（目安）



メンテナンス

事業	・ 日常メンテナンス →顧客の工場内に常駐し、修繕・保全作業を行う ・ シャットダウンメンテナンス(SDM) ※海外ではTurn Around(TA)と言う →2、4年等の周期で法令点検が必須。 プラント全体もしくは一部分の稼働を停止させ、大掛かりな検査・洗浄・部品交換作業等を行う	トピック	«動員力» 山九機工懇和会を筆頭に、協力会社5,000名以上の技術・技能を持った動員力が強み «教育» 国内4拠点、海外2拠点(マレーシア・サウジアラビア)に機工人材の教育施設保有。高度な技能を有する動員力確保の為、教育体系を整備
特長	・ 鉄鋼、石油、化学など素材メーカーがメイン ・ SDMは石油、化学のみとなり鉄鋼は無し ・ SDMの工事量は、周期によって変動する傾向がある(隔年、売上50~100億程度) ・ 国内 鉄+化学メンテナンスシェア：2割(目安) ・ 売上割合 日常メンテ：SDM= 4：6	主な業績変動要因	・ 顧客の修繕費にあたり、法令に基づく作業の為景気に左右されづらい ・ SDMの追加工事増減 ・ 顧客の設備トラブルに伴う緊急対応
競合	鉄鋼：メーカーのエンジニア子会社、高田工業所 化学：レイズネクスト		
成長	・ 中東のTA獲得 大型石油化学プラント新設が盛ん →31/3までに最低1件の獲得が目標		



設備工事

事業	・ プラント設備の新設/増強/改修/更新工事 ・ 重量物輸送/据付 →橋梁/風力発電/原子力発電/ごみ焼却炉 等	機工共通の トピック ・ 受注割合 鉄：化学：その他 = 4：4：2 →国内の鉄化学業界シュリンクを見据え、 その他「電力、インフラ、環境等」の拡大を目指す ・ 機工事業の海外比率：10～15%程度 ・ 直近の収益拡大の背景 ①国内プラント設備の老朽化に伴うメンテ需要増 ②人手不足に伴うシェア拡大 ・ M&Aによる事業拡大戦略 →事業承継、機能補完、新規事業がテーマ
競合	鉄鋼：スガテック、ほか海外でKBR, SAVAGEなど	
成長分野	«風力» 20年以上におよぶ陸上風力据付工事に加え、洋上風力案件獲得を目指す «原子力» 原発再稼働に伴う設備輸送・据付・メンテナンス需要の増加 «エネルギープラント・道路・上下水道» 生活に不可欠なインフラの老朽化に伴うメンテナンス需要の増加	主な 業績変動 要因 ・ 大型スポット案件獲得 ・ 顧客の設備投資にあたり、メンテナンスに比べると景気に左右されやすい ※ 売上割合はメンテナンス：設備工事 = 2：1（目安）



SANKYU

EOF

